

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：平成 年 月 日

事業所名 こどもサポート教室きらり武蔵新城校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令を遵守したスペースを確保しております。	
	②	職員の配置数は適切である	○		法令で必要とされる配置数に加え、指導員又は保育士を1名以上配置（常勤換算による算定）しています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		支援スペースには数字や動物の絵を張り出して、支援スペースをより明確化するなどの配慮を行っております。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		床、外回り、玄関、トイレ、流し台は職員で役割分担をして、毎日出来る範囲で行っている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		1日2回（朝夕）情報共有の場を設け、行っております。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		ご家族様からの意向やご要望がありましたら、その日の打ち合わせの場で全体共有し、その意向や要望に沿えるためにどうすればいい	

				かを話し合っております。		
⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		当社 HP にて公開しております。また、事業所内に保護者向けのアンケート結果を掲示しております。		
⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在は、利用者・社内の2者評価をとっております。第三者による外部評価については、現在実施の予定はありませんが、今後必要に応じて実施を検討してまいります。	
⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		発達支援研究所や大学教授などの助言を交え、研修など行っております。		
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		利用者様の状態は常に把握してモニタリングを取った上で、保護者様と相談しながら個別支援計画に基づき支援を進めております。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントを行う記録票につきましては、会社で定めたアセスメントツールを使用し、行っております。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		事業所内・保護者様と共にモニタリングを行い計画についてPDCAに沿って判断・検討してまいります。	

⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○	支援準備等の合間に徹底して行い、常に見直し、検証をしながら日々の支援に繋げております。
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○	会議の場以外でも、気になった事例に関しては常に情報を共有し行っております。
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○	活動プログラムは、本人の学習、活動を最大限行い易い様に考え、個別に提供しております。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○	アセスメントを元に、優先順位をつけて個別療育において個別支援計画を策定しています。集団活動（小集団）につきましては、現在実施する枠が無く休止状態となっております。今後のご要望ならびに枠次第で、小集団の再開も検討しております。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○	支援開始時間が勤務開始時間と重なる場合があり、その場合は前日に打ち合わせを行うように務めております。

	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了時間が勤務終了時間と重なる事もあり、出来る範囲で最大限打ち合わせを行っております。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援準備等の合間に徹底して行い、常に見直し、検証しながら日々の支援に繋げております。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		事業所内・保護者様と共にモニタリングを行い計画についてPDCAに沿って判断・検討しています。	
関係機関や保護者との連携関係機 関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		一部の利用者様につきましては相談支援事業所との連携を図っております。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		一部の利用者様につきましては相談支援事業所との連携を図っております。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				該当する利用者様のご利用が無い為、無回答とさせていただきます。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				該当する利用者様のご利用が無い為、無回答とさせていただきます。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		一部の利用者様につきましては、幼稚園に直接訪問し、情報共有を行っております。	

②6	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		ご希望のある方には連絡票を用いて情報提供できる体制を整えています。
②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	発達研究所及び外部大学職員講師による研修を受けております。	
②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		活動出来る仕事（業務）時間の設定とはなっていないので職員ではどうにもならない実状がございます。

②9	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	月1回行われている川崎市の親の会「わになろう会」に児発管が出席しております。	
③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		○	毎回の支援終了後に、保護者様へフィードバックの時間を設けています。	
③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		○		現時点ではご希望に合わせて情報提供を行っております。昨年冬にはペアレントトレーニングの勉強会を校舎内で実施しました。今後ペアレントトレーニングを兼ねた支援を提供していくための準備と周知を行っていく予定です。
保 護 者 へ の	③2 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		○	運営規定や利用者負担に関しては児発管兼管理者が契約時に行っております。	

説明責任等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		支援の内容中身に関しましても、児発管兼管理者がモニタリングや個別支援計画を通じて確認いただいております。	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		求められた場合には内容に応じて情報を提供しております。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現時点では行えておりません。アンケートでも要望の声があり、今後保護者様のご希望に合わせて開催を検討しております。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			系列事業所との連携により、保護者の希望に配慮しながら迅速かつ適切に対応しております。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ブログ等で周知を行っております。年末年始や夏休みの案内などは別途ご案内用紙を作成し、周知しております。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報外部に漏れない様、言葉には常に気を付けております。また、個人情報に関わる書類などは常に裏面にしておくなど配慮しております。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		ご利用者様、保護者様に応じて文字の拡大、色の整理等を行っております。	

	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている		○		地域住民や地域関係機関からの教室見学は、当校の契約状況を鑑みながら随時受け付けております。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○		マニュアルを策定し、研修を実施しております。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○		マニュアルを策定し、研修を実施しております。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している		○	全てのご利用者様を対象に保護者様から伝えられた情報を把握し、万が一の事が起きないように留意しております。	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		現時点で該当するご利用者様はおりませんが、全てのご利用者様を対象に保護者様から伝えられた情報を把握し、万が一の事が起きないように留意しております。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		マニュアルを策定し、研修を実施しています。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○		マニュアルを策定し、研修を実施しています。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○		当校として、該当するケースはありませんが、そのようなケースが発生した場合には左記の通りに進めてまいります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：平成 年 月 日

事業所名 こどもサポート教室きりり武蔵新城校 保護者等数（児童数） 14 回収数 8 割合 57%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	3	0	5	・もう少し広いと思う。	申し訳ございません。 ①④同様、スペースにつきましてはどのような配置が、よりご利用者様にとっても広々とご利用いただけるか、検討を行っております。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	7	0	0	1		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	1	0	1		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	2	0	0	・スペースが狭い。	申し訳ございません。①④同様、スペースにつきましてはどのような配置が、よりご利用者様にとっても広々とご利用いただけるか、検討を行っております。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	7	0	1	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	0	0	2	・児童発達支援ガイドラインを読んでみたい。家での関わりにも反映できるかもしれないので。	保護者様の待合スペースにガイドラインを置かせていただきました。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	1	0	0	・計画が後追いの為。	申し訳ございません 平成 29 年 5 月以前よりご利用いただい

							ている皆様につきましては、計画に一部遅れが発生しており、現在対応を行っております。	
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	7	1	0	0	・同じ内容が繰り返されているように感じるが、45分なので仕方ないのかも。	・本人の支援のペースや継続性が必要な支援に関しては、あえて同じ内容の支援を設定して、繰り返し行っているケースが一部ございます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	5	3	・きらりを通じては無い。 ・きらりとしては無い認識。	・今後どのような対応が出来るか、上長とも協議をしております。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4	3	1	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	5	1	2	0	・児童発達支援ガイドラインを読みたい。 家での関わりにも反映できるかもしれないので。	・保護者様の待合スペースにガイドラインを置かせていただきました。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	0	1	5	2	・あると助かる。	・県内のペアレントトレーニング研修には積極的に参加しております。保護者様への支援として実働が出来る様、職員一同知識を深めております。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7	1	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	1	1	0	・その都度だけバタバタしている。面談など時間を設けて貰えるとよいかと。	・事業所内相談支援加算の対象とはなりませんが、当校の空き時間中での相談受付を開始しております。

	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	0	7	0		・どのような事をテーマにして行っていくべきか、どの様に行うべきか等 現在校舎内で協議しております。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	5	1	1	1		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5	2	1	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1	1	3	4		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	5	2	0	1	・違う方のものが混ざる事があった。	・申し訳ございません。過去に1度、配布している請求書を誤って違うご家族様のものをお渡ししてしまう事がありました。現在管理者が渡す前にもしっかりと目視で確認した上で請求書ならびに領収書の配布を行っております。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	1	1	1	5		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	0	2	4		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	8	0	0	0		
	㉓	事業所の支援に満足しているか	7	1	0	0		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。